

くじゅうの滝特集！

暑くて涼しくじゅうの夏がやって来タ

くじゅう地域は標高が約700m以上と高い所にありますが、夏の昼間はやっぱり暑い！ノハナショウブやハンカイソウなど夏の花がいっぱいのタデ原湿原を歩くときは、日陰が少ないので、特に朝と夕方歩くのがお勧めです。夏山登山を計画されている方は、稜線を歩くとき、日差しが直接あたるため、特に注意が必要です。さて、そんなときにオススメしたいのが、滝。今回の特集では、あまり知られていない滝スポットや登山をして行く滝スポットを少しだけですが紹介しています。夏のくじゅうを楽しむ際には、ぜひ立ち寄ってみてください。（2017年7月現在の情報です。）

滝スポット 1 白水川の滝（しらみずがわのたき）

長者原ビジターセンターから徒歩で約30分

あまり知られていないこの滝。長者原ビジターセンターから約2km程、九州オルレコースを歩くとあります。硫黄山を源流とする白水川は、タデ原湿原を通してこの滝へと流れてきています。そのため、硫黄の成分で滝の岩肌が褐色になっていて、ある意味「くじゅう火山群」の特徴を持った滝なのかもしれません。この滝はオルレコースの途中にあるので、長者原ビジターセンターから滝だけ目指すのもよし、せっかくなので、九州オルレコースを歩いてみるのも良いですね！



滝スポット 2 暮雨の滝（くらさめのたき）

吉部登山口から徒歩で約1時間



吉部登山口から、約1時間歩いて、登山道から少し下ると現れる滝。落差約7m、幅約15mの滝です。この暮雨の滝、新緑の季節もよし、紅葉もよし、冬には滝が凍結するので、その景色もまた良しと、どの季節に訪れても、四季折々楽しむことができます。登山口から始め20分程度は、急な坂を登ります。その坂を登ってしまえば、あとは平らな道が続きます。実はこの登山道、坊ガツルまで続いているので、暮雨の滝だけでなく、坊ガツルまで歩いてみるのも良いかもしれませんね。坊ガツルまでは、登山口から約2時間です。登山道は森の中なので、暑い夏でも直射日光は防ぐことができますよ。

Data 吉部登山口



有料駐車場：300円／1日、500円／1泊 100台（仮設トイレ）
標高：約950m 登山ポスト：あり

滝スポット 3 名水の滝（めいすいのたき）

男池から徒歩で約10分

夏のオススメポイントとして、よく紹介している場所が男池（おいけ）ですが、その先に名水の滝という滝があります。名水の滝のすぐ近くに駐車場もありますが、4～5台しか停めるスペースがないので、ぜひ男池駐車場から入り、原生林の中を歩いて名水の滝を目指してみてください。夏でも、あまり日差しが入らず、川も流れているのであまり暑く感じません。特に名水の滝では、水しぶきがかかるので、とっても涼しい！少し肌寒く感じることも。水で滑りやすい部分もあるので、足元には要注意です！



滝スポット 5 老野湧水の滝（おいのゆうすいのたき）

久住高原観光案内所から車で約10分

老野湧水という名水が湧く神社があり、その下流にある「滝？」という印象を受ける場所です。それでも、湧水の下流にあるので、水はとても綺麗で、岩のまわりのコケが生き生きとしています。滝だけを目指すというよりは、老野湧水とセットで楽しむのがオススメ。



滝巡りの注意点

- その1. 足元はすべりやすいので、要注意！
- その2. カメラや携帯はしっかりと持って！
- その3. 歩きやすい靴と服装で行こう！

滝スポット 4 清滝（きよたき）

男池から車で約30分、長湯温泉から車で約15分

水量はあまり多くありませんが、40m程の高さから、ゆっくりとミスト状に滝壺に降り注いでいるのがこの滝の特徴のようです。周りをぐるっと岩肌に囲まれていて、とても静かな場所です。入口の標識周辺にも駐車場がありますが、さらに奥に数台停めることのできる駐車場があります。その駐車場から歩いて約10分。この静かな滝にたどり着きます。静かすぎて怖いと感じる方の中にも中にはいるかもしれません。暑い夏の日、静かな場所で繊細な滝に癒されたい方はぜひ！



久住高原観光案内所

久住高原エリアの観光情報はココで！

住所：大分県竹田市久住町久住3987
TEL：0974-76-1610
時間：8時30分～17時（年末年始以外無休）



▶久住エリアのパンフレットが豊富にあります。スタッフの方も常駐しているので、なんでも聞いてみよう！

▲目印の看板

▲滝の上部

目印の看板。広域農道沿いにあります▼